

2026年1月28日

各 位

会 社 名 株式会社フライツソリューションズ  
代表者の役職 代表取締役社長 片山 圭一朗  
氏 名 (コード番号:3753 東証スタンダード)  
問い合わせ先 代表取締役副社長 松本 隆男  
I R・広報室長 金(こん) 浩樹  
電 話 番 号 03-3440-6100 (代)

## 食品ロス削減に向けた事前予約・決済システムの 稼働開始について ～EVERYFOOD 向け決済基盤提供の進捗～

株式会社フライツソリューションズ(本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一朗、以下 当社)は、株式会社 EVERYFOOD (本社: 愛知県名古屋市、代表取締役社長 杉浦卓、以下 EVERYFOOD)が取り組む食品ロス削減施策の一環として構築された事前予約・決済システムに決済基盤を提供し、本システムが 2025年12月25日より稼働を開始したことをお知らせします。

本件は、2025年10月に発表した取り組みに関する事業進捗の報告\*1となります。

### ■取り組みの背景と位置づけ

食品ロス削減は、環境負荷の低減や持続可能な社会の実現に向けた重要な社会課題の一つです。

EVERYFOOD では、給食事業における需要予測の難しさから生じる食品廃棄を課題と捉え、事前予約による需要把握および予約時の与信枠確保による無断キャンセル抑制を目的とした仕組みの検討を進めてきました。

当社は、予約および決済をオンラインで完結させるための決済基盤の提供を通じて、本取り組みに参画しています。

### ■稼働状況

本システムは 2025年12月25日より稼働を開始しており、2026年1月5日から実際の食事提供が行われています。第1号ユーザーは、約 1,500 人が従事する工場内での弁当の予約およびデリバリーを行う事業会社で、本システムを活用しています。

### ■当社決済基盤の役割と今後の展開

当社は、オンラインでの非対面決済および現場での対面決済の双方に対応する自社運営の決済センターを有しています。

本取り組みにおいては、事前予約に基づく決済フローを起点に、受け渡し時や現地での対面決済なども含めた運用を、一つの決済基盤で一貫して扱うことが可能な構成となっています。

今後は、本システムの運用状況を踏まえながら、現場の需要に即した形での展開を進めていく予定です。

### ■サステナビリティとの関係

本取り組みは、EVERYFOOD が掲げる活動<sup>\*2</sup>において、食品ロス削減を通じた資源の有効活用に貢献するものであり、SDGs 目標 12 「つくる責任 つかう責任」に資する取り組みです。

また、EVERYFOOD と当社との連携による本システムの構築・運用は、SDGs 目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」の考えにも合致しています。



当社は今後も、決済基盤の提供を通じて、社会課題への対応と持続的な事業展開の両立を目指していきます。

\*1 参考：2025年10月24日公表「食品ロス削減に向けた新予約システムに決済機能を提供」  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3753/tdnet/2700701/00.pdf>

\*2 参考：株式会社EVERYFOODが実施している31の活動  
<https://everygroup.co.jp/ef/wp/wp-content/uploads/2025/08/sdgs.pdf>

以上